

新赴任教員講話(全校朝会)

5月15日(月)・6月5日(月)

全校朝会で新赴任教員の講話がありました。

1回目は塩畑先生から、ご自身の名前に入っている「絵」についてのお話がありました。

「ものの見え方は1つだけでは無い」「人によって見え方は違う」という内容を、実際の絵を見せながら分かりやすく説明してくれました。

児童生徒たちはさまざまな絵の中に隠されたたくさんの見え方を学びました。また人も同様にいろいろな見え方があること、見方を変えてみると新しい発見がある、ことを学びました。

2回目は佐々木先生から、「コミュニケーションとは」というお話がありました。

「コミュニケーション」の最も大切なことは「相手の事を考える」という内容を、ジェスチャーゲームを交え、分かりやすく説明してくれました。

児童生徒たちはコミュニケーションを円滑に進めるには「相手の気持ちを考えて話す」「相手の気持ちを考えて聞く」ことが大切であるということを知りました。

JSJ名物の新赴任教員講話は、毎回児童生徒に新たな発見をもたらします。この記事の執筆者(3年目教員)にとっても、大変貴重な内容で、学ぶことがたくさんありました。

